



2022年8月8日  
株式会社 阿波銀行

有限会社丸福運送店の「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、有限会社丸福運送店（代表取締役 杉本 圭也、本社：兵庫県姫路市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

企業名	有限会社丸福運送店
所在地	兵庫県姫路市山吹二丁目 11 番 18 号
代表者	杉本 圭也
業種	道路貨物運送業
設立	1968 年 8 月 22 日

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

# SDGs宣言書

2022年8月8日



## 有限会社丸福運送店 代表取締役 杉本 圭也

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	多様な人材活用	性別、国籍、年齢、人種、出身、宗教などによる差別の禁止を目的に、多様な人材が活躍できる環境の整備に努めます。	① (1)女性の雇用数・割合の目標設定 (2)60歳以上の雇用数・割合の目標設定		
			② (1)2025年までに女性従業員割合20% (2)2025年までに60歳以上従業員割合10%		
環境・社会・経済	環境マネジメントシステムの構築	未来の地球環境を守るため、環境活動および社内体制の継続的改善に努めます。	① エコアクション21の認証取得		
			② 2025年までに認証取得		
社会・経済	教育への貢献	自社のリソースを最大限活用し、地域の教育に貢献する活動を行います。	① 地元企業と協力し、地域スポーツ大会の企画・運営		
			② 地元を基盤としたITスポーツイベントを年2回開催		
環境・社会・経済	リスクマネジメントの実施	持続的な事業活動のために、自社の業務において発生しうるリスクを認識し、あらゆる対策に努めます。	① (1)事業継続計画（BCP）の策定 (2)無事故・無違反・飲酒運転撲滅		
			② (1)2023年までに策定したBCPを全社員へ周知 (2)安全運転会議を毎月1回実施		

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。